

・市域における数値目標（目標数値の考え方と算出方法）

項目	考え方と算出方法
温室効果ガス排出量削減率	環境基本計画において、平成 18（2006）年度比で、平成 30（2018）年度までに 14%削減するという目標を立てています。目標年度の平成 42（2030）年度、平成 62（2050）年度の 2 つは、環境モデル都市アクションプランに掲げる目標です。中期目標として、平成 18（2006）年度比で、平成 42（2030）年度までに 35%削減、長期目標として、平成 18（2006）年度比で、平成 62（2050）年度までに 70%削減するという目標を掲げており、参考に記載しています。
エネルギー消費量削減率	エネルギービジョンにおいて、平成 18（2006）年度比で、平成 30（2018）年度に 5%、平成 42（2030）年度に 20%削減するという目標を立てています。
再生可能エネルギーの普及	エネルギービジョンにおいて、平成 23（2011）年度比で平成 30（2018）年度に普及率 16.5%、平成 42（2030）年度に普及率 30%という導入目標を立てています。普及率は、太陽光発電の設置基数を一戸建て件数で除したものとなります。一戸建て件数は、28,180 件（総務省平成 20 年住宅・土地統計調査）としています。
太陽光発電によるエネルギー自給率	<p>エネルギービジョンにおいて、平成 42（2030）年度の電力需要見込みに対する太陽光発電による自給率を 15%とするという目標を立てています。目標数値は下記の方法により算出しています。</p> <p>①2030（H42）年の電力需要見込み 2012（H24）年度市域の電力使用量の 80%の数値とする。 $413,117,311 \text{ kWh/年} \times 80\% \approx 330,493,849 \text{ kWh/年}$</p> <p>②目標自給率 15%</p> <p>③太陽光発電設置容量 1kWh あたりの年間発電量 1,063 kWh とする。</p> <p>$\text{①} \times \text{②} \div \text{③} = 46,636.00879 \dots \approx 46,700 \text{ kW}$</p>
ごみ排出量	<p>環境基本計画において、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみ排出量 平成 19（2007）年度比で、1 人 1 日あたり排出量を平成 30（2018）年度までに 15%削減するという目標を立てています。 ・家庭系ごみ再資源化率 平成 19（2007）年度比で、再資源化率を平成 30（2018）年度までに 30%にするという目標を立てています。 ・事業系ごみ排出量 平成 19（2007）年度比で、年間排出量を平成 30（2018）年度までに 6,721 t に削減するという目標を立てています。
公共交通	<p>環境基本計画において、平成 19（2007）年度を基準とし、平成 30（2018）年度を目標年とし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道利用者数 現状維持から 0.5%増に。 ・路線バス利用者数 10%増に（生駒駅・東生駒駅発着路線のみ）。 ・コミュニティバスなどの代替交通の新規路線を複数ルート実現 といった目標を立てています。
竜田川の水質	竜田川の水質を、4 つの観測地点ごとの年間平均で B O D（生物的酸素要求量）5mg/L 以下になる目標を立てています。
環境活動 参加人数（計画開始年度からの累計）	基準年度、平成 21（2009）年度からの累計が、平成 30（2018）年度を目標年度で、平成 19（2007）年 10 月現在の生駒市の総人口 11.7 万人になることを目指しています。

